



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)1月25日号 No.1914

目次

■ 2022年のロシアの乗用車販売動向	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2023年2月号のご紹介	7
■ キーパーソン	8
新駐日キルギス大使任命／8	
ヘリコプター墜落でウクライナ内相死亡／8	
■ エトセトラ	9
情報提供セミナー「ロシアでの事業継続・縮退に伴う法的課題」／9	
■ トピックス	9
2022年のロシア港湾のコンテナ取扱量減少／9	
2022年のロシア港湾の貨物取扱量は0.7%増／9	
アゼルバイジャンのガス輸出が18%増加／10	
大阪ガスがサハリン2新会社と契約／10	
ウクライナに対する債務救済措置／10	
ウクライナに対する発電機の供与／10	
日本の外務政務官が中央アジアを訪問／10	
ロシア向け中古車輸出会社が破産／11	
トルクメニスタンが一院制に回帰／11	
3月にカザフスタンでも下院選挙／11	

2022年のロシアの乗用車販売動向

はじめに

『経済速報』では、欧州ビジネス協会(AEB)が毎月発表しているロシアの乗用車販売データを抜粋して「統計速報」のコーナーで定期的に紹介している。そのAEBが先日2022年通年のロシアの乗用車販売データを発表したので、今回の速報では通常よりも図表を拡充してAEB発表のロシア乗用車販売データをご紹介します。

図表1にみるように、2022年ロシアにおける乗用車(新車に限り、小型商用車を含む)の販売台数は68万7,370台となり、前年比-58.8%(97万9,410台減)と大幅に減少した。

図表2は月別の販売動向を示したものである。1～2月は2020年、2021年と数値的にほぼ同様の傾向を示しているが、2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が勃発し、欧米諸国などによる経済制裁も発動されたことから、3月以降は大幅に低迷し、過去10年間で最も低い値となっている。

図表3にみるブランド別販売台数では、日系メーカーについては、ToyotaやNissanをはじめとして多くのブランドが2022年通年の販売台数を大幅に減少させた。さらに図表4はブランド別の販売台数、